

崎本ソフトボール研修大会開催(5月3～5日)



大会には、崎本正人夫人の幸子さん(前列中央)も応援に駆け付けられました

中学生を対象にした「第1回崎本ソフトボール研修大会」(篠山ソフトボール協会主催)が市内の4会場で開催。県内外から40チームが参加し、市内からは篠山・篠山東合同チーム、丹南・西紀合同チームの2チームが参加しました。大会は、勝敗よりもチームのレベルアップを図ることを目的に、1試合1時間の時間制限で計162試合が行われ、選手たちは声を掛け合い、はつらつとしたプレーを見せていました。なお、今回の大会名は、2005年から2014年まで長澤ソフトボールキャンプを丹波篠山で開催された崎本正人さんの功績を称え、名付けられました。

「第2回デカンショマッチ」開催(4月29日)



篠山鳳鳴高校と篠山産業高校の硬式野球部が対戦する「デカンショマッチ」が行われました。これは、高校野球で丹波篠山市を盛り上げようと企画されたもので、今回で2回目の開催。両校の生徒や保護者、市民の皆さんらが観戦に駆け付け、両校の吹奏楽部の演奏にも力が入り試合を盛り上げました。

オーガニックビレッジ宣言(4月27日)



市では、農薬や化学肥料を使わない有機農業を、生産から消費まで地域ぐるみで進める「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。宣言は県内では2例目。今後は、米や黒大豆の有機栽培技術の確立・普及を図り、環境にやさしい農業を進めていきます。

みんなちがって、みんないい「とっておきの音楽祭」(4月22日)

障がいのある人もない人も、一緒に音楽を楽しみ、音楽で心のバリアフリーをめざす「とっておきの音楽祭」が開催されました。今年も、4年振りに参加の制限がなくなり、岩手県から岡山県まで71団体、602人が出演。田園交響ホールなど9つの会場が用意され、歌や演奏だけでなく、ダンスや手話歌、パントマイムなどさまざまなステージが披露されました。「みんなちがって、みんないい」を合言葉に、参加者たちはカタチやスタイルにとらわれず、自由な音楽を楽しみました。



新たなモンキードッグを認定(4月21日)



農作物を荒らすニホンザルを追い払う「モンキードッグ」に荒木礼子さんの愛犬モモが認定。制度の認定犬はこれで44頭(活動中14頭)となりました。モモは、飼い主の荒木さんと一緒に里山をパトロールし、集落をサルから守るために活動していきます。

第102回丹波杜氏自醸酒酎酒会(4月18日)



この冬丹波杜氏たちがつくったお酒の出来栄を競う審査会が行われました。普通酒52点、純米酒53点、吟醸酒45点の計150点が出品。大阪国税局鑑定官室長ほか5人の審査員が、香りや味わいなどを評価しました。

火災現場の人命救助で感謝状贈呈(4月25日)



大山地区で発生した建物火災で、火災をいち早く発見し、家屋内に動けずいた家人を屋外に救出された渡邊智子さん(左)と田村明久さん(右)、辻聖子さんに市消防本部から感謝状が贈られました。3人は迅速な対応で家人を救出し、被害を最小限に抑えられました。

武術太極拳の丸山響生さんが全国で3位入賞(4月23日)

丹南中学校3年の丸山響生さんが、4月22・23日に大阪府熊取町で開かれた「JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会」に出場。3種目に出場した丸山さんは、武具を持たない徒手の種目「長拳B」で、3位入賞に輝きました。



瑞宝単光章

もりもと みちお
森本 通朗さん(河原町)
元兵庫県警部



危険業務従事者叙勲

大学と大学院で学んだ法律と、高校時代から取り組んできた柔道を生かそうと、1974年に兵庫県警察本部に入庁された森本さん。大半を刑事畑で過ごされました。

印象に残っている事件として、刑事課長時代に一枚の写真を手掛かりに公営競技場で約1万人の観客の中から、強盗事件の被疑者を直感で見つけ出し逮捕されました。「事件の反響は大きく、感謝の声がたくさん寄せられました。みんなの力があってこそ、組織力での勝利でした」と当時を振り返ります。受章には、「安心・安全を守るため、真摯に愚直に取り組んできたことが評価されたのはありがたい」と笑顔で話されました。

栄光輝く

